

一般社団法人日本歯科医学会連合 令和 5 (2023) 年度事業計画

基本方針

一般社団法人日本歯科医学会連合は、歯科医学を振興することによって歯科医療の向上を図り、国民および人類の福祉に貢献することを設立趣旨としている。

世界に先駆け、超高齢社会に突入したわが国において、医療ニーズの多様化、高度化などの社会的要請を受けて、当法人は、歯科医学と歯科医療をより一層推進し、情報発信していくことが求められている。そのための学術的根拠の確立や歯科医療技術の革新、国際連携の推進などを実施していく。

当法人は、会員学会、日本歯科医学会、日本歯科医師会などとの密なる連携を図り、歯科界全体が一体となって、国民の健康と福祉の向上に寄与していく。

これらを遂行するべく、以下の事業を実施する。

事業内容

1. 会員学会を統括し、緊密な連携による横断的研究開発の推進、成果の有意義な活用を行うために、対外的な折衝に関わる。
2. 将来を見据えた歯科医学と歯科医療ビジョンを歯科の国家的戦略として策定、提言する。
3. 世界の歯科関連団体と連携を強化する。
4. 厚生労働科学研究、日本医療研究開発機構等を活用した公募研究を実施し、支援する。
5. 歯科医療問題に関わる調査研究等を行う。
6. 歯科医学と歯科医療に係る学術団体の立場から日本医療安全調査機構に参画し、医療事故調査制度等への協力と支援を通じて医療の安全に寄与する。
7. 良質かつ適切な歯科医療を提供するために、国民および社会に信頼される歯科医師、歯科技工士および歯科衛生士の専門制度確立に参画する。
8. 日本歯科医学会連合雑誌、Asian Pacific Journal of Dentistry, WEB 歯科用語集（英和・和英）、その他刊行物を発行し、当法人の事業活動、会員団体の研究成果等を国内外に向けて発信する。
9. その他、当法人の目的達成に必要な事業および活動を行う。

委員会等の活動計画

- 将来構想推進委員会：登録商標ハビルに関わる広報活動
臨床ニーズマッチング会の開催
日本学術会議等と連携したシンポジウムなどの事業
- 政策連携渉外委員会：横断的研究の推進についての対外的折衝
研究成果の発表等についての対外的折衝
歯科医学ビジョンの策定と提言についての対外的折衝
歯科医療ビジョンの策定と提言についての対外的折衝
歯学教育と研修のあり方についての対外的折衝
歯科医療の諸問題の検討と当法人としての意見集約
歯科医療制度、歯科医療問題に関して関係諸機関との連絡調整
その他、当法人の目的達成に必要な事業についての対外的折衝
- 医療職連携委員会：歯科医師、歯科技工士および歯科衛生士の専門制度連携に関する検討
歯科医師、歯科技工士および歯科衛生士の専門制度に関する研修会等の開催
国内における歯科衛生士と歯科技工士の専門制度に関する調査研究
多職種連携に関する活動
- 企画広報委員会：ホームページの改訂ならびに管理運営
- 大型研究推進委員会：フォーラムの開催
- 国際活動委員会：会員学会のためのグローバル人材育成を中心とした活動
会員学会への留学生参加啓発と交流の活発化
- 歯科専門医制度委員会：調査研究
専門医および新規専門医の支援事業費
- 倫理利益相反委員会：会員から依頼のあった利益相反に関する審査
- 医療安全調査委員会：研修会開催
- 臨床研究支援委員会：臨床倫理審査についての調査
臨床研究法，個人情報保護法，倫理指針における継続研修についての調査
「一般社団法人日本歯科医学会連合 臨床研究支援委員会」第3回フォーラムの開催
- ICT活用委員会：会員学会ワークショップ開催支援
ICT 歯科イノベーション推進環境提供（歯科における ICT に関する事業協力含む）
法人事務局内の ICT ファシリティの整備充実（継続事業）
- 編集会議：日本歯科医学会連合雑誌，Asian Pacific Journal of Dentistry，WEB 歯科用語集（英和・和英），その他刊行物の編集，発行等についての協議